

常任委員会の所管事務調査

経済文教常任委員会 委員

◎久保貴洋 ○横井帝之、鶴見義明、山菅直己、木村久雄、小倉健一

調査項目 1 令和元年東日本台風後の市内中小業者の状況について

調査日 11月5日(木)

調査目的 市内の倒産及び廃業の状況並びに市独自の支援に対する活用状況の確認

調査内容 市民税課に提出された廃業届けでは、令和元年は前年より廃業が73件増加。東日本台風で被災した中小事業者支援のため、現在も3本の補助金メニューの受付を行っていることを確認しました。

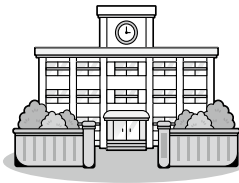
調査項目 2 コミュニティ・スクール制度について

調査日 11月5日(木)

調査目的 あそ野学園義務教育学校での運営状況及び市立小中学校における導入予定の確認

調査内容 あそ野学園では、学校運営協議会が設置され、令和3年2月に第3回の学校運営協議会を開催する予定。令和5年開校の葛生義務教育学校もコミュニティ・スクール制度を導入する予定との説明を受けました。

コミュニティ・スクールとは…



学校運営協議会という組織が設置された学校のことをいいます。学校運営協議会は、学識経験者、地元企業、各地区代表、地域の保護者でつくるボランティア組織の学校地域応援団代表など、15人の委員で組織されています。

調査項目 3 中山間地域の活性化について

調査日 11月5日(木)

調査目的 中山間地域における休耕地及び特色ある農産物の状況の確認

調査内容 中山間地域等直接支払交付事業として、集落単位で協定を結び、協定内容に応じた補助金を交付。青パパイヤなど、特色ある農産物の生産に挑戦している事例があることを確認しました。

建設常任委員会 委員

◎亀山春夫 ○横田 誠、小暮博志、高橋 功、金子保利、若田部治彦

調査項目 令和元年東日本台風の災害復旧工事現場及び議案可決事業施行現場の現状について

調査日 11月5日(木)

調査目的 東日本台風被害の復旧状況及び議案可決事業の施行状況の確認

調査内容 ①秋山川本緑地災害復旧工事について 右岸側の災害復旧延長は385.1m、左岸側は278.1mと大規模で、10月末現在の工事進捗率は右岸側60%、左岸側95%の状況でした。

②佐野線田沼～多田間開渠改修工事の実施業務委託(普通河川菊水川改修事業)について 線路下にボックスカルバートが設置された状況を確認し、水路幅は2倍、河積は3倍と大幅に改善されていました。

③山菅都市下水路災害復旧工事及び富士見町地内排水路災害復旧工事について 右岸側の山菅都市下水路災害復旧工事は完了し、連節ブロック設置、平張ブロック設置、河床の根固めブロック設置など、強固な復旧工事が何えました。左岸側の富士見町地内排水路災害復旧工事は入札を検討中でした。



◀ 普通河川菊水川・ボックスカルバート設置後(上流側)



(工事前)

◀ 山菅都市下水路災害復旧工事



(工事後)